

## 第5回呉市立美術館あり方検討委員会摘録

令和6年5月7日(火) 13:30～16:00  
呉市役所8階 802 協議室

## 【委員】

〔出席者〕

呉市立美術館 館長	横山 勝彦
京都国立近代美術館 館長	福永 治
広島市現代美術館 館長	寺口 淳治
呉市教育委員会 教育部長	石川 直之
呉市産業部 副部長	兼光 賢
呉市文化スポーツ部 部長	多田 博

## 【概要】

## ○呉市立美術館設置要綱の改正について（委員の異動）

高橋 信治 委員 → 石川 直之 委員（教育部長）

安倍 広志 委員 → 多田 博 委員（文化スポーツ部長）

※委員の異動があったため、これまでの総括も議論した。

## ○呉市立美術館ニーズ調査の結果概要について

## ①呉市立美術館が、今後も美術の拠点として必要だと思いますか。

「必要だと思う」との回答は、来館者・市民・美術関係担当職員で8割以上。  
中学生・高校生では6割程度で、全体としても半数以上。

## ②美術館がリニューアルされたら、鑑賞に行きたいですか。

「行きたい」との回答は、来館者・小学生・市民・美術関係担当職員で7割以上。  
中学生・高校生においては、「どちらとも言えない」の割合が半数以上と高くなっている。

## ③美術館であなたがやってみたい、期待するものを教えてください。

「美術作品の鑑賞」は、来館者・小学生・中学生で最も高くなっている。

高校生では、「カフェやレストラン」が最も高くなっており、次いで「美術作品の鑑賞」となっている。アートに関するワークショップについては、小学生から高校生まで、2割程度の方が期待するとの回答であった。

## ○八戸市美術館視察について

令和6年6月8日（土）10:00

## ＜主な意見のまとめ＞

### A 呉市立美術館ニーズ調査の結果概要について

- ・多くの高校生が、美術館に期待するものとして「カフェやレストラン」と回答しているのが意外であった。【寺口委員】
- ・全国的に見ても高校生は美術館に対する関心が低い。【福永副委員長】
- ・高校生が美術館に行く割合は低い。【横山委員長】
- ・高校生が美術館に関心が低いのは、教科に関係があると思われる。  
小中学生は全員図工や美術を学ぶが、高校生の芸術は「美術・音楽・書道」からの選択科目になっており、美術を学んでいる高校生は3分の1となっている。【石川委員】
- ・中高生にもなると、部活や勉強など他のことに興味を持つことも多いかと思う。  
音楽の練習ができるような場所があるなど、幸町地区が活動拠点になっていけば結果も違ってくるのではないかと思う。【多田委員】
- ・中高生に対するアプローチ等が課題の部分もあるが、一方で、多くの人が「美術館は必要であり、行きたい。」と知っていることが伺える良い結果が出ている。【福永副委員長】

### B 八戸市美術館視察での質問事項について

- ・人員・年間予算・リニューアルにかかった金額を確認したい。【寺口委員】
- ・以前の美術館からリニューアルするにあたり、どのような経緯で今のコンセプトに至ったか聞きたい。【横山委員長】
- ・ジャイアントルームの運営、企画展や所蔵品について、他の公立美術館とのネットワークについても聞きたい。【福永副委員長】
- ・貸し館業務（小・中・高の展覧会や市美展）について聞きたい。【福永副委員長】